

策として信号機や標識など交通安全施設の大巾な拡充を図ることとし、約十三億三千万円を計上いたしております。また現在建設中の交通安全会館を九月末完成させ、交通管制センターによる都市交通の制禦、運転者教育の充実を図るとともに、交通取締についても力を入れ、これに必要な監視車輻等の増強をいたすこととしております。なお、交通安全に関する県民の自衛意識を高め、事故の防止に努めるため婦人会等各種団体、機関を一丸とした交通安全推進協議会が結成される運びとなりましたので、この協議会と一体となって県民の交通安全運動を展開して参りたいと存じます。

(警察活動の充実)

住みよい社会環境は、公共の安全と秩序の維持にあることは申すまでもないこととございまして、その任にあたる警察関係につきましても、警察署の統合を含む組織体制の強化および施設の整備合理化により総合力の発揮に留意いたしますとともに、特に青少年の不良化防止および暴力犯の取締等の活動費の増額をいたしております。

四、国土保全と防災体制の整備

国土保全事業につきましては、四十七年の災害の経験にかんがみ、特に、四十八年度から重点的に実施することといた

しております。土石流による危険地域の調査事業をはじめ、河川改修、予防治山、地すべり防止等の公共事業の積極的受入れを図るとともに、単県事業につきましても治水堤防、河川改良関係に三億三千万円、砂防関係に七千万円、治山関係一千万円等と大巾に増額いたしております。

また、災害時の緊急事態を、迅速かつ的確には握し、効率的な対策を可能ならしめるため、年次計画をもって防災無線網を整備することとし、四十八年度は約一億七千三百万円を計上いたすとともに、降雨量または、河川水位等の状況を即刻知ることができる水防テレメーターの設置費三千七百万円を計上いたしました。

第三 生涯教育の推進と芸術文化の振興

(天草上島被災地の集団移転)
天草上島地区被災地の集団移転計画につきましても、昨年来、姫戸、倉岳、竜ヶ岳の三町村に対し鋭意指導を行なうに参ったところと存じますが、これらの計画によりまると、三町で移転対象戸数は約五百八十戸、総事業費は約十三億円に上り、町負担も相当多額になりますので、これが軽減を図るため県といたしまして、四十八年度においては、これに必要な補助金を計上するとともに、既定の特定地域振興資金を貸し付ける等の財政援助をいたす所存であります。

郷土の発展を担う次代の人材の養成を図るため、教育諸条件の整備充実と教育の質の向上に努め、特殊教育や恵まれぬ教育条件下にある児童生徒のための施策を推進して参る所存でございます。さらに、すべての県民が、郷土を愛し地域社会のより一層の発展に寄与していくよう、社会教育を充実して参る考えでございます。また、県民一人一人が自らの教養を高める情操を養うとともに、芸術や文化に接して心の豊かさを持ちうるような機会を作っていく必要があると思

います。そのため、施設の充実に努めるとともに

に地域社会に密着した芸術文化活動が幅広く展開されるよう努めて参りたいと存じます。

一、教育の振興

(学校教育の充実)

学校教育の充実を図るため、県立高校の学級増九学級をはじめ、県立特殊学級の幼稚部および重複障害児学級の増設、熊本市ほか三市町立の養護学校の新設に必要な経費を計上いたしました。

また、小中学校低学年の複式学級の緩和を図り、盲ろう養護学校の教育あるいは同和教育等に必要単県教職員を従来約百五十名に加えて七十五名増員し、あわせて百八十名を配置することとし、さらに教育の充実に努めることといたしました。

次に、父母負担の軽減につきましても従来から努力いたしているところでありましたが、四十八年度におきましても県立学校運営費を増額いたしております。

なお、四十七年度創設いたしました育英資金を五千万円増額し、奨学生の人員増を図っております。

(教育施設の整備)

教育施設の整備につきましては、宇城地区における高校の新設、天草地区養護学校の開設準備のための校舎新築をはじめ、約四十四億七千万円を計上し、施設の近代化を図るとともに、教育センターに体育施設を設置するなどその充実に努

一、地域開発のための主要施策の推進

(高速交通網の整備促進)

高速交通網の整備促進のうち先ず、国鉄九州新幹線の誘致につきましても、政府の四十八年度予算で工事着工の見通しがつきましたので、整備計画、工事実施計画の促進を図り、山陽新幹線の工事に引き続き博多以南の工事が着工されるよう関係機関に働きかけて参る所存でございます。

次に、九州縦貫自動車道につきましても、熊本、南関の間約三十七キロメートルが開通しておりますが、熊本以南につきましても、松橋までの工事と松橋八代間の用地買収を進めるとともに、八代へびの間の整備計画が早期に決定されるよう努力して参りたいと存じます。

また、熊本空港関係につきましても、大型機導入に対処し、エプロン等の整備のほか、空港監視レーダーの発注がなされ、さらに四十八年度には空港運用時間帯の延長が決定されました。これによって東京方面が一日行動圏に入りうる日も遠くないと期待されるわけですが、さらに今後とも路線の拡充に努めて参りたいと存じております。

(基幹交通網の整備)

近年モーターゼーションの急速な普及によって、市街地や、その周辺部では随

しては、約六億五千三百万円を計上し、父母負担の軽減を図るとともに、教職員の待遇改善ならびに教育内容の充実に努めて参りたいと存じます。

また、昭和四十九年四月八代市に開設が予定される国立工業高等専門学校建設に伴います地元協力事業を県は八代市と分担して実施することといたしております。

二、芸術文化の振興

文化の振興につきましても、最近各地の開発の現況にかんがみ、文化財の保護調査を緊急に必要とする事例が増え

第四 豊かな社会への基盤づくり

本県が真に豊かな住みよい郷土を築いていくためには、産業と生活の基盤となる交通通信施設の整備、水資源等の開発あるいは生活環境の整備を計画的かつ積極的に推進していく必要があると考えます。

豊かな社会づくりの基礎的条件となります交通通信網につきましても、既存の幹線の整備に加え、あわせて各生活圏や重要な開発拠点を結ぶ交通通信網の整備に力を入れて参りたいと存じます。これらの諸施策の進展のうえにたつて広域市町村圏の振興対策を計画的に推進して参る考えでございます。

特に県下全市町村の半数以上を占める過疎市町村に対して新たな助成制度を含めてその対策を講じて参りたいと思

めて参りたいと存じます。なお、教育振興資金を五千万円増額し、市町村の教育施設等の充実に資することといたしました。

(社会教育と体育スポーツ等の振興)

社会教育の振興を図るため、今回新たに家庭教育相談事業として、テレビ、マガキ等による幼児相談事業を行なうこととしましたほか、少年の健全育成の場として「少年自然の家」を菊池市に建設する経費約一億四千四百万円を計上いたしております。

県民の体位向上とスポーツ振興のため、県民スポーツ技術向上事業等を拡充いたしましたほか、県営藤崎台野球場にナイター施設を設置して利用の拡大を図りたいと思

(女子大学の建設等)

県立女子大学につきましては、さきに熊本女子大学基本問題審議会から答申がございましたので、その趣旨を十分尊重し、今後内容の充実を図っていく考えでございますが、四十八年度はその改築準備のための経費として約千六百万円を計上いたしております。

次に、私立学校に対する助成につきま

